

令和2年度

第2回 南伊豆町総合教育会議議事録

日 時 令和2年12月22日(火) 13時25分から15時15分
場 所 南伊豆町役場 3階 会議室
出席者 町 長 岡部克仁
教育長 佐野薫
教育長職務代理者 山田浩
委 員 大年清一
委 員 山口絹代
委 員 井上伸悟

説明出席者 事務局 長 大野孝行
学校教育係長 萩原拓三
社会教育係長 桑原信孝

傍聴者 なし

1 開 会

事務局長 開会宣言、町長に冒頭のあいさつを依頼するとともに議長は町長が務める旨述べ進行を議長に依頼する。

2 議 事

岡部議長 あいさつ及び議事録署名人について、教育長及び議長が務めることを述べ議事に入る。

議事(1) 学校統合について、12月16日に開催された学校教育環境整備委員会の報告をメインに事務局の説明を求める。

萩原係長 第1回南伊豆町学校教育環境整備委員会の資料及び議事録に基づき、説明する。

岡部議長 質問はあるか。
委員会の中で、統合のメリット、デメリットという話になっているが、

アンケートを取ったときに統合しようという方向で動いていたのではないのか。

萩原係長 令和8～10年度に町としては統合したいという考えを出してある。これについて、委員会の中で揉んでもらえたらと考えている。

岡部議長 今統合の可否について諮っているのでは進みが遅いのではないか。令和8年に統合するためにどうしていったらいいかを具体的に進めて行った方が良いのではないか。

山田委員の考えは。

山田委員 下田市の統合委員会にも参加させてもらったが、統合には長い時間がかかる。令和8年度というのであればそれに向けて着々と進めて行くのが良い。

また、令和8年度統合というのであればその根拠が必要になってくるのではないか。

当町の学校は明らかに文科省の言う適正規模から外れている。小規模校どころでもない。

岡部議長 今年度に出生すると予測された町内の子どもは24人。

その子たちが令和8年には6才、その翌年に小学校に入学し、今から13年後の令和15年には中学の入学生が24人しかいないということ。転入・転出はあるだろうがこれが現実である。遅くとも13年後には一つになっていないといけない。

教育長意見は。

佐野教育長 環境整備委員会では、町の方針は令和8年度に統合と言うことで示している。町長も議会で公言している。その中で中学校統合の可否についてというのは戻っているように思えるが、様々な立場の方を委員にお願いしている。統合の際に課題となる、校舎の関係、耐用年数、通学方法等についても意見の訊ける方もお願いしている。

数年前に行ったアンケート調査や児童生徒数の現状を見れば統合しないということ方向にはいかないと思う。

令和8年度というのは生徒数が150人になる年度。150という数値は1学年概ね50人で2クラスを想定したもの。

その先はまた減少していき、今年度出生予測された24人の1クラスとなる。

決まっているからやらせてくださいというのではなく、最初のこの段階を丁寧にやっていかないと、保護者感情というものもあるので難しいところでもある。

- 岡部議長 大年委員の意見は。
- 大年委員 町長の意見も理解できるが、保護者感情を考えると丁寧に説明していきたいという教育長の考えも理解できる。その点は教育長の言うとおりに進めて行かなければならないと思っている。
- 山口委員 統合において大事なものは通学手段の確保であると思う。スクールバスを出すとか、町の財政状況であるとか、そういう説明をして町はここまで考えているんだということをアピールしておかないと、賛成反対の判断ができないのではないかと
- 岡部議長 保護者が一番気になるのが通学方法。色々な方向から生徒が来るので、スクールバスも何台出すのかとかも課題。
- 山口委員 通学手段を解決しないと保護者としては不安が拭えない。
- 岡部議長 スクールバスを直営でやるのか、事業者に委託するのかという問題で、現在でも東海バスへの自主運行バス運行についての町の負担も増えてきている。路線バスの運行方法も含めて考える必要がある。
- 佐野教育長 クラス分けについても、令和8年度統合であれば各学年2クラスで足りる。整備委員会資料の②のページに色付けされた14人。中学校で男女合わせて14人は発展的ではない数字。例えば体育で男6人、女8人に分けて何をするのかということ。サッカーはできない、バレーは混合ならやれる。卓球、バドミントンなら何とかなる程度。
- 岡部議長 いろいろ意見が出たが、井上委員は保護者としてどのように感じているか。
- 井上委員 詳しい話を初めて聴いた中で、町としてはどちらに統合したいと考えているのか。
- 佐野教育長 まだ決定はしていないが、跡地利用も含めて様々な要因を総合的に判断して、より教育環境の良い方にしたいと考えている。
- 井上委員 校舎は新築するのか。
- 佐野教育長 個人的見解ではあるが、いずれの学校を使用するにしても新築したほう

が良いのではないかと考えている。

井上委員 跡地の活用方法については何か考えているのか。

佐野教育長 教育委員会サイドとしては、日詰遺跡等の展示、古民具の展示、サテライトオフィス、様々な体験教室（干物づくり、ところてんづくり等）での活用等のアイデアは持っている。

あくまでも例えばの話であるが・・・

岡部議長 よその例では、旧県立静岡南高校は「ふじのくに地球環境史ミュージアム」として教室は昆虫や動物の見本展示、茶道部が使っていた畳の部屋は集会場、グラウンドは半分は少年野球等で使用し、半分は駐車場として使用している。

大変良い施設となっている。

山田委員 統合された後の学校運営を考えるうえで、統合により地域の軋轢^{あつれき}が生まれた場合、今の教育は地域とのつながりを大切に考えているため大変苦しい立場となる。町民のみんなが納得できるような選択をしていくべき。

下田市の中学校統合にも関わったが、4 中学を一つにした場合、どこの中学にもっていったらどうなるというシミュレーションをやっていた。さらにそれを数値化（ポイント制）していた。学校敷地面積、教室数、通学時間数、通学金額負担数等が項目であった。様々な項目の中で数値化し、みえるかたちにすることでいろいろなことが分かってくるのではないか。

岡部議長 数値としてみえる化することは良いアイデア。

佐野教育長 年々、予算ヒアリングにおいて要求が憚^{はばか}られる感じである。というのは、施設の老朽化が進行しており、それに多大な経費が掛かる。学校が2校あれば必要なものは双方にお金をかけなければならない

中学校統合の協議の数年後には小学校統合も検討に入らなければならないと思う。

岡部議長 財政的にもここ2～3年が一番厳しい時期。人口減少も続くため国勢調査人口を基本数値の一つとしている地方交付税交付金も少なくなっている

くる。学校建て替え等についての国の補助金があるうちにやっておきたい。

山口委員 学校建設のための基金はあるのか。

萩原係長 学校だけというものはなく、公共施設整備基金というものがある。それほど多くは無いと思う。

事務局長 中学校統合の検討については議会や新聞で公言公表しているが、それに対する意見等は事務局には一切入ってきていない旨報告しておく。納得しているのか、興味がないのかはわからないが・・・

岡部議長 学校統合については以上でよろしいか。
何か意見等あれば事務局へ提言を頼む。

岡部議長 次の議案「令和3年度予算について」事務局の説明を求める。

事務局長 資料に基づき説明。

岡部議長 オリンピック・パラリンピックは是非開催していただき、子供たちに観戦させたい。
パソコン充電保管庫については第三次の地方創生臨時交付金で対象となれば購入したい。
ALTはコロナでなかなか来日できない。
令和3年度予算について意見等あれば伺いたい。

井上委員 テニスコートは購入するのか。

岡部議長 購入する。整備にはまた費用がかかる。しかし、横並びで六面のコートがあり合宿の誘致にも繋がると考えている。

井上委員 ナイター設備はどうするのか。

岡部議長 六面照らすのはなかなか難しい。二面くらいを照らそうかと考えている。宮前テニスコートでも夜間使用する方もいる。夜間であれば子供たちだけでなくテニス経験者の大人もやってみようかということにもなるかもしれない。照明も設置できるように頑張る。

桑原係長 二面コートの真ん中に置くLEDのもので2,600万円くらいである。

山田委員 昔、投光器をつけてやった覚えがある。

佐野教育長 そういうものも候補には挙がっている。

岡部議長 他は如何か。

事務局長 成人式について説明させていただきたい。

《 全員了承 》

桑原係長 成人式の実施方法について資料に基づき説明する。

岡部議長 マウスシールドは準備してあるのか。

桑原係長 すでに配付も開始している。

岡部議長 特に美容室からクレーム等はないか。

桑原係長 うちには特には入っていない。

山口委員 成人式は実施とのことだが、参加者にPCR検査等を受けさせたりはしないのか。

岡部議長 しない。

山口委員 屋外での開催はどうか。

岡部議長 考えていない。

事務局長 会場はドアを開放し、空気清浄機も稼働させる。屋外は天候や風のことを考えなければならない。

山口委員 若者には、やるべきことを具体的に挙げてやらなければわからないのではないか。

佐野教育長 具体的に対応する。

山田委員 若者は感染しても無症状や軽症、恐いことは成人が帰省したことによ

って家の高齢者に感染させること。

岡部議長 会場でも注意喚起は行う。
他にはないか。

《 特になし 》

岡部議長 なければ進行を事務局に返す。

事務局長 議事は終了。
以上で令和2年度第2回南伊豆町総合教育会議を閉会とする。

議事録署名人 岡部克仁

議事録署名人 佐野 薫

議事録署名人 大野 孝行